

稲沢市立保育園

クーゲルバーン

協同性

友達と協力しながら作ることも多く、作品を真似したり、一緒に考えたりして刺激を受けながら、取り組んでいます。「おれこっちやるわ!」と役割分担もしながら黙々と組み立て、組み立て終わったら、ビー玉を転がし、「めっちゃすげー!」と喜びを分かち合っています。



稲沢市は、主体的な保育を進めています

～「やりたい」と子ども達の心が動いて自分から考えたり遊びに取り組んだ時に、より良い育ちが生まれます～

遊びや生活は

学びの宝庫

子ども達はやらされるのではなく、心が動いて自分で「やりたい!」「おもしろそう!」「不思議だなあ、知りたい!」と思った時に、よりよい育ちが生まれます。保育士は、時に子ども達の共同作業者となり、時にはそっと見守り、時には自分で考えるようあえて答えを出さず、思いを巡らす時間を作ります。

子ども達に小さな失敗はつきもの。保育士は、失敗しないように先回りするのではなく、失敗した時にも立ち直ったり、気持ちに折り合いをつけたり、深く考えるチャンスだと捉えます。新しい時代を生きていく子ども達に、知識だけでなく非認知的能力を育みたいという願いが詰まっています。

そのために、子ども達が主体的な遊びや生活ができるよう環境を整えるのが保育士の大きな役割です。そして何よりも、保育士は、子ども達が失敗を恐れず安心して色々なことにチャレンジできる心の基地となる存在となることが重要です。

稲沢市では、心の温かい、どんな人の心も大切にできる、そんな保育園を目指してチームで保育を行っています。子ども、保護者、保育士、保育園で働く職員、すべての人が笑顔でいられる楽しい保育園でありたいと思います。

♪コンサートごっこ♪



「衣装を着て踊りたい!」と作って披露していました。

豊かな感性と表現



次の日、お客さんを呼ぶためのチラシ作りをしました。



「パプリカ踊りたい。」と年長児の踊りに刺激を受け年少児もステージに立って一緒に踊りました。

道徳性・規範意識の芽生え

わざとではないけれど友達が壊してしまうことも多々あります。「なんで壊すんだよ!」と怒ることもありますが、最後には「また作ればいいか」と友達と折り合いをつけて、また一緒に作ることを楽しんでいます。



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

スタートからゴールまで中が見えない作り。イメージしたものを作るため、どの形の積み木を組み立てればいいのか考え、工夫しています。

社会生活との関わり



文字や数字への興味・関心



自然との関わり・生命尊重



乳児 物との関わり



22匹のダンゴムシ